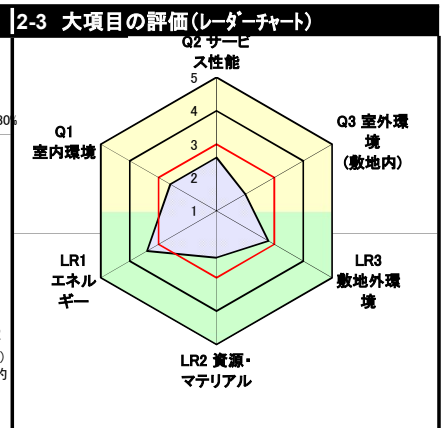
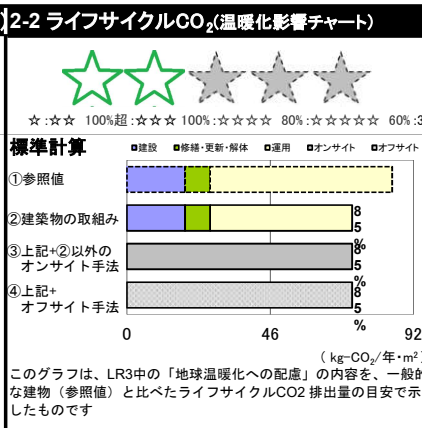
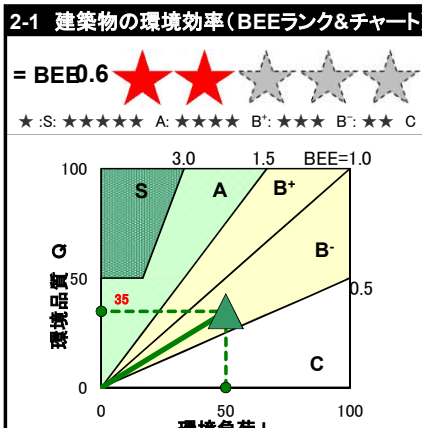
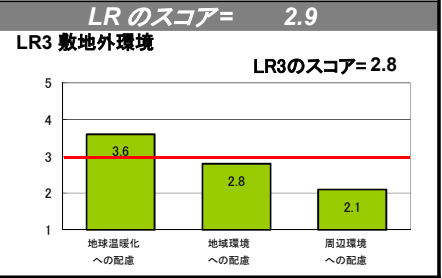
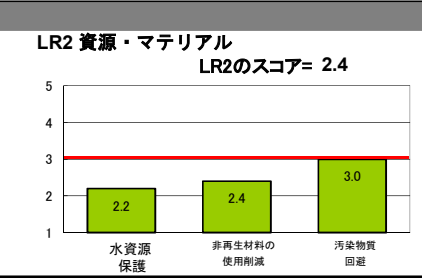
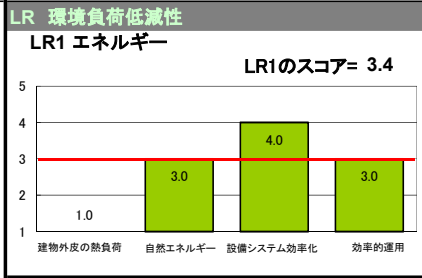
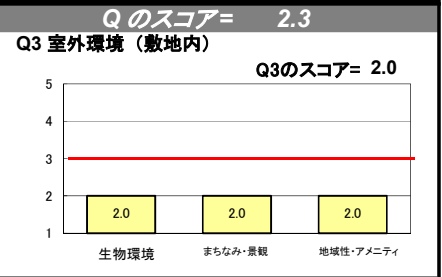
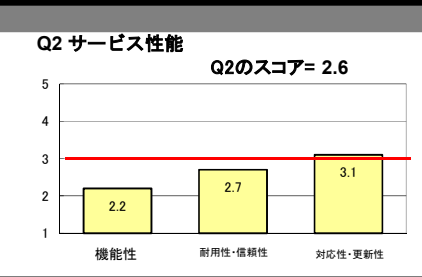
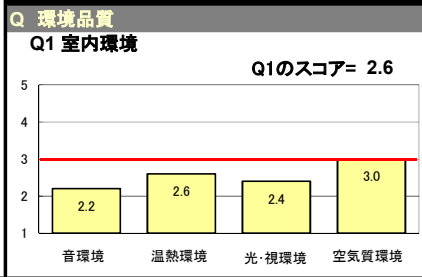


1-1 建物概要	
建物名称	(仮称)T-park新築工事
建設地	藤沢市湘南台1丁目13-1,13-2
用途地域	商業地域、準防火地域
地域区分	6地域
建物用途	物販店,飲食店,工場,
竣工年	2016年10月 予定
敷地面積	2,121 m ²
建築面積	1,709 m ²
延床面積	3,124 m ²

階数	地上2F
構造	S造
平均居住人員	194 人
年間使用時間	8,760 時間/年
評価の段階	実施設計段階評価
評価の実施日	2016年2月28日
作成者	大和ハウス工業株式会社横浜支社 流通一級建築士事務所
確認日	2016年3月2日
確認者	大和ハウス工業株式会社横浜支社 流通一級建築士事務所



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合		その他
室内空間の快適性の向上を目指し、適切な断熱材、仕上材の選定を行うとともに、LED照明等の積極的な採用により、省エネルギーを図る。また、周辺環境を考慮した植栽計画を行うことで、地域環境への配慮を図る計画とした。		
Q1 室内環境 適正な設備計画を行うことで、室内空間の向上を図る。	Q2 サービス性能 壁長さ比率を0.1以上0.3未満にて計画した。	Q3 室外環境(敷地内) 計画的な緑化により室外環境の向上を図る。
LR1 エネルギー 設備機器(LED照明等)の選定により省エネを図る。	LR2 資源・マテリアル LED照明器具の積極的な利用にて節電を行うことで資源の保護向上を図る。	LR3 敷地外環境 省エネ性能向上を図り、LCCO ₂ の排出率を抑えつつ、計画的な緑地計画により、敷地外空間への配慮を図る。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される